



学校法人神奈川歯科大学 理事長
鹿島 勇

100年後の価値を 今(いま)創造する

新年明けましておめでとうございます。

104年前の明治43年、本学の創立者である大久保潜龍先生は、東京女子歯科医学講習所の100年後をどのように想い描いていたのでしょうか。おそらく、学校法人神奈川歯科大学として進化を遂げることになろうとは夢にも思わなかったでしょう。では、今から100年後の本学は、どのような形で世の中に存在しているのでしょうか。その存在に少なからず影響を及ぼすことになるのが、平成29年フルオープン予定の新病院です。この病院建て替えも、100年のスケールから見れば小さな出来事に過ぎないのかもしれませんが。しかしこの一歩は、横須賀・横浜から東京そして海外へと発展していくさらなる進化と繁栄の象徴となります。昔の10年が一年の単位に相当する今こそ、本学の100年後を戦略的に想定しておかねばなりません。そこで今年、「100年後の価値を今(いま)創造する」を標題としました。そして、改めて5年間の改革を総括し、次なる未来への出発点にしたいと思います。

歴史は現代史

「無常という事」の書で著名な歴史評論家であった小林秀雄は、「歴史は現代史であり、範例の宝庫である歴史から今を学ぶ」と述べています。つまり、過去を遡ることによって今が解るということです。そこで強引ではありますが、第一次世界大戦後の荒廃した世情から台頭してきた、ファシズム政権樹立のプロセスと本学再建を対比させながら5年間の考察してみることになります。

第一次世界大戦後、ドイツは全ての植民地を失い、ベルサイユ条約により多額の賠償金を課せられました。そこに世界大恐慌が追い打ちをかけ、国民の50%以上は職を失い、経済は疲弊していくこととなります。国民は夢と希望を失い、ネガティブ思考の中、疑心暗鬼の日々を過ごしていたに違いありません。それは、規模の違いはあるものの、かつて本学の置かれていた状況に酷似しています。国全体が何らかの新しき変化を期待している時、間隙を突いてナチスが表舞台に出てくることとなります。今回は、**ガバナンス、将来ビジョン、財政、イデオロギー**そして**象徴**のキーワードでナチス政権樹立と本学再建プロセスとを対比させてみることにします。

ナチスの**ガバナンス**は、ゲシュタポによる反対制派の弾圧であり、いわゆる秘密裏に行われた力の支配でした。それに対し本学は、父母会、同窓会、組合への情報公開や教職員を対象とした全体説明会そして教職員と執行部との合同勉強会を通じた真実の共有と

いえます。しかし、再建成功の主因となったのは、「報酬は改革成功という名の達成感」のフレーズで公募した大学再建プロジェクトチームの立ち上げでしょう。疑心暗鬼の中、不平や不満が累積し、爆発寸前のエネルギーの塊を大学再建へと誘導したことが、改革成功の鍵となったことは言うまでもありません。個人や一組織ではなく、大学全体が一つの生命体と化し、そこから創発してきた目に見えない力がガバナンスとして働いたに違いありません。

ナチスの**将来ビジョン**は、全ヨーロッパ征服であり、エゴイズムをむき出しにした大ドイツ帝国の確立でした。本学の将来ビジョンは、未来につながる財政基盤の確立、貢献が報われ誇りある労働環境、歯科を中核としたグローバルな教育研究そして国内外のニーズに応える高度先進医療の4本柱を基軸とする健康長寿社会を支えるプロフェッショナル組織です。しかもこの将来ビジョンは、若き力を結集した再建プロジェクトチームから発せられたものです。そこにはナチスと異なり、正義と大義に基づいた基本的人権の尊重を瞥見することができます。

当時のドイツ**財政**は行き詰まり、究極の選択として、賠償金1320億マルクを金で支払うベルサイユ条約を一方向的に破棄しました。借金が消えたことにより、国民は一時的に安堵したものの、そこに大義名分は立たず単なる錯覚に過ぎませんでした。一方、本学は改革一年目から年間10億円以上の赤字からのV字回復を模索しまし

た。時間的猶予はなく、復旧と復興を同時に推し進めなければならない実状から、その年の冬期賞与の支給停止を決断しました。さらに不採算部門の廃科・閉校に踏み切り、対象となった部門の教員は退職を勧告することにしました。厳しい決断であり、未だ万感胸に迫る改革として心に残っています。さらに、予算執行状況を確認しながら各種職務手当の支給停止、コスト削減、予算執行停止等の対応策を打ち出し、当初の目的を達成することができました。この黒字化は再建の可能性を数字として視覚化させました。大義という名のもとに掴んだ勝利といえます。

当時のドイツ国民の**イデオロギー**とはいかなるものだったのでしょうか。一般的に、憎しみは団結を生み愛情は分裂を生ずと云います。憎悪の念を共有することによって、その組織は団結するという人間の心理を突いた考えに基づいているのでしょうか。ナチスはユダヤ人をその対象に選択しました。「アンネの日記」や映画化された「シンドラのリスト」等で、世界中の誰もが知っているホロコーストです。第一次世界大戦後のドイツと当時の本学とのイデオロギーの違いを対比させることには少々無理があるかもしれませんが。敢えて挙げるとすれば、資産回収を目的とした旧理事・監事の善管注意義務違反に基づく損害賠償の民事裁判であるかもしれませんが。通帳はもとより自宅、マンション等の闊歩的差し押さえは、未だに例えようのない感佩を覚え

ます。この件については、係争中であることからこの程度に留めることにしましょう。

ナチスの象徴は忠誠を誓う独特の敬礼様式（両足を揃え片手を伸ばす）と党旗のシンボルマークであるハーケンクロイツ（鉤十字）です。力による統制と服従の象徴であり、それには狂信的でカルト的ともいえる一種の違和感を覚え

ます。本学は、100年に渡る悠久の時をかけて創り上げてきた文化力の象徴として「人体標本と100年史」と題した歴史資料館を開設しました。それは、大学の品格と歴史、卒業生間の絆、在学生の母校愛、教職員の帰属意識そして外交手段としての象徴となり普遍です。

第一次世界大戦後のドイツは

復興に失敗し、本学は復旧と復興を少なからずとも同時に成し遂げました。成否の分かれ目は、選択した手法に正義と大義が有るか無いかの違いに他なりません。

この5年間は財政再建が主であり、目的が明確であったことから、垂直的に掘り下げる論理的思考手順に従って改革を進めることができました。その改革に一定の

目途がついた今、私達は時代を読み、“ひらめき”や“想像力”そして“直観力”を研ぎ澄ましなが水平的思考によって100年後の価値を先取りしていかなければなりません。再度、覚悟と使命感（全てのものを諦め、ただ一点に集中する）を自分に誓いながら理事長として6回目の新年を迎えます。



神奈川歯科大学・
神奈川歯科大学短期大学部 学長
平田幸夫

2015 神奈川歯科大学新聞新年号

新年、明けましておめでとうございます。昨年4月に学長を拝命し、初めての新年を迎えました。本年も、大学の益々の発展に向けて皆様と共にさまざまな取り組みを進めたいと考えております。宜しくお願いします。<新たな神奈川歯科大学ブランドに向けて>

さて本学は、平成22年に次の4つの将来ビジョン①未来につながる財政基盤、②貢献が報われ誇りある労働環境、③歯科を核としたグローバルな教育・研究、④国内外のニーズに応える高度先進医療を柱に全学的な改革を開始しました。中でも国家試験の合格率と2018年からの18歳人口の減少への対応については本学の最重要課題であり、国が進める「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」及

び大学がバナンス改革を含む「大学改革実行プラン」を踏まえて、教育改革を平成25年度より歯学部から本格実施（下図）し、次の①教育課程の体系化、②教員間連携による組織的な教育、③教育方法の改善、④初年次教育の強化、成績評価の厳格化、⑤学修成果の把握と改善、⑥教員の教育力の向上を重視し、学士力と教育力の向上に拘った取り組みを進めています。

2年目を迎えた本年度は、新たに歯科医師国家試験担当副学長を、また9月からは入学試験担当副学長を特命し、優れた新入生確保（アドミッション・ポリシー）から優れた歯科医師の輩出（ディプロマ・ポリシー）ならびに国家試験の合格率の上昇までを通した中長期的な教育プロ

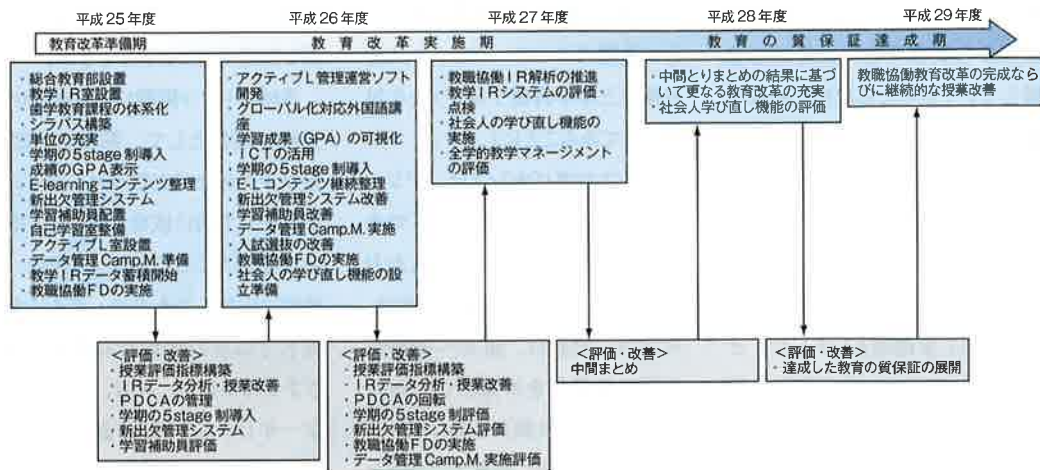
グラム（カリキュラム・ポリシー）の質保証に取り組んでいます。教育改革に関する真の評価は年度末になりますが、一つの指標となる教育改革と連動公的補助金では、現時点で、次の①建学の精神を生かした大学教育の質向上（教育の質的転換）、②臨床能力の主体的な場としてのスキルラボ整備（主体的な臨床能力の修得）、③主体的な学修が可能となるWiFi環境の整備（アクティブラーニング環境の充実）、昨年からの継続分の④教育の質保証を目指すための教職協働によるIR機能の整備（教職協働とIR機能の強化）の4つが採択されました。また、昨年11月の入試に関する会議で示されたオープンキャンパスのデータによれば、ここ3年間（平成25年度

入学受験者～平成27年度入学受験者）の毎年の参加者の半数以上が本学の教育（内容）システムに関心を持って参加していることがわかりました。これらの結果して、本学で進めている教育改革の方向性は正しく、更に、本学独自の教育改革を新たな神奈川歯科大学ブランドとして成長させる価値のあることを意味しているといえます。

そのようなことから、今後は単に教育改革をしたというだけではなく、国が求めている大学がバナンス改革を踏まえ、本学独自の教育改革を徹底して行うと共に、新たな神奈川歯科大学ブランドの実現に向けて、皆様と教職協働を進めていきます。

最後になりますが、皆様の本年のご健勝をお祈りいたします。

神奈川歯科大学の教育改革に関する中長期プラン





神奈川歯科大学 副学長
榎木 恵一

新年あけましておめでとうございます。

本年の最大の目標は、歯科医師国家試験の合格率を上げ、神奈川歯科大学の建学の精神を実現する深い愛を備えた歯科医師を多数輩出することであり、その旗振り役として最大限の努力をしていきたいと考えております。

これまで、いくつかの改革が行われてきており6年教育の充実をはかってまいりました。さらに、新たな試みとして通常4月より新学期となるところを、今年からは3月より6年教育をスタートさせ教育期間

延長に向けた準備をしています。これは、1年から6年という一貫した教育体系のなかで6年教育の構築を行うというコンセプトに基づいています。現在は、過渡的な時期ではありますが、平成28年度を完成年度として鋭意進めているところであります。一方、歯科医師国家試験が、相対評価により選抜される時代となり、難易度が増加しているのはご存知の通りです。この傾向は続き、今後ますます難しくなることが予想されています。大変高い壁を越えねばならない時代に、これまで以上に、学生をしっかりサポートしていかねばならないと考えております。また、ご家族をはじめ同窓の皆様にも何卒ご理解いただき、ご支援ご協力をお願い申し上げます。平成27年が始まりました。新たな1年を実りあるものとするため全力を尽くしてまいります。

いりましたが、安定的な大学運営が可能な状態に回復いたしましたことを先ずもって報告させていただきます。

トピックスとしては昨年の11月、ベトナムの首都ハノイ市にある国立バックマイ病院附属看護大学と看護師、看護学生の研修受け入れに合意し、本年10月には数名の留学生が研修の予定です。ベトナムの国民性は非常に勤勉で高い向上心が特徴とされ、本学の学生にも大変良い刺激になると期待しております。

大学の使命は社会貢献であり、その本分は学生教育であり一人でも多くの優秀な歯科衛生士、看護師を社会に輩出することが我々に課せられた使命であります。その意味で、教育力にさらに磨きを掛け、学生の期待するカリキュラムを提供することで学生生活を充実させ、その成果が国家試験に顕れる好循環となるべく努力をいたしていく所存です。

最後に、神奈川歯科大学短期大学部が神奈川歯科大学の一員としてその力を発揮し、神奈川歯科大学の益々の発展に寄与できることを期待します。



神奈川歯科大学 副学長
菅谷 彰

副学長を拝命して

あけましておめでとうございます。昨年9月より副学長を拝命いたしました。学長補佐はもちろん、副学長として自らが積極的に学事に取り組む所存であるとともに、その責任の重さを痛感しています。昨年度4月より学生担当部長と入試部門を担当しており、新入生を含む学生生活のサポートを中心とした対応が求められていると考えております。入学者に関しては定員の確保はもちろん、学生の質の担保も同時に求められています。ユニバーサル化した大学教

育とはいえ、医学・歯学部は患者の生命を預る重責者を養成する機関であり、エリート教育、優秀な人材育成が求められます。特に国家試験の合格率アップは最重要課題にもあげられ、教育の質の向上が求められています。

また本学は平成25年度より歯科医学を中心とした医療系の総合大学として社会に貢献することになりました。チーム医療が求められる現在、各々専門の分野において学問や医療技術を共有することは重要で、今後は学部を超えた教育改革も必要になるものと考えます。リベラルアーツや基礎医学領域は本学ならではの学部、学科を超えた共通部分であり改革の意義は大きいと考えます。

IRの推進、ガバナンス改革が叫ばれる昨今、その方向性を確認しながら円滑に推進されるよう尽力する所存であります。

カ年からも脱却し、法人の再生をあらゆる面で“ゼロベース思考”で考え行動する年にしたいと思います。既存の枠組みにとらわれずに考えること。

人間は、それまでのやり方に引張られがちです。環境変化が小さいならそれでも問題ないでしょうが、環境変化の大きい現代、既存の枠組みでは思考の幅が狭くなり、有効な解決策を見つけられないことも多くあります。既存の枠組みにとらわれずに「ゼロベース」で最善の方法を考え、問題を早く見つけ解決することが重要であると考えます。法人運営は、職員の皆さん一人一人がその職務を全うし、その集合体として成り立っています。新しい年も皆さんの力を借り様々な課題を解決していきたいと思います。



学校法人神奈川歯科大学 事務局長
峯村 明彦

ゼロベース思考

新年あけましておめでとうございます。歯科大学も半世紀という時の流れを越えて新しい時代へと足を踏み出す年となりました。2年ほど前から進めている教育改革、今年からスタートする新病院建設これらを視野に入れながら、4年後にくる2018年問題（現在約110万人で推移している18歳人口が減少域に入る）を迎え、今年はその対策に着手しなければならない年になるでしょう。

文部科学省の経営改善計画5



神奈川歯科大学短期大学部 学部長
長谷 徹

教育力アップで大学生生活の充実と国試全員突破を!

新年明けましておめでとうございます。

早いもので神奈川歯科大学短期大学部となって今年の4月で3年目に入ります。18歳人口減少が続く今日、一時は一学年45名となった歯科衛生学科でしたが、神奈川歯科大学の支援と教職員一丸となった努力が実り、平成27年度には入学者が100名を超えるまでになり、学科の学生数も300名を見込めるまでになりました。看護学科においては社会の高いニーズも追い風に安定的に80名の定員確保がなされてきております。これまで、多くの教職員の皆様にご心配をお掛けしてま



附属病院 病院長

小林 優

新病院の設立に向けて

新年、明けましておめでとうございます。

ご承知のように、経営再建5か年計画は期待以上の成果を挙げ、文科省からも健全経営のお墨付きを頂くことができました。本院も平成23年度に初めて資金収支での黒字化、平成25年度には消費収支でも黒字化を達成し、今年度もこのまま順調に推移すれば消費収支の黒字化がほぼ確実な状況となっております。これも一重に皆様方の御協力の賜物と感謝申し上げます。

改革は成功裏に終わりましたが、問題のすべてが解決した訳ではありません。「入学定員の確保」と「入試選抜機能の強化」、「施設老朽化への対応」、「人事制度改革」や「教育改革」、「大学院改革」等々、重要課題が山積しています。これまではいわば文科省主導の応急処置で

したが、これからの第2次経営再建5か年計画は真の意味で「自らの生存を掛けた戦い」であると言えるのではないのでしょうか。このような状況で新病院の建築準備を迎えられたことは、本学にとって非常に幸運であったと思います。これまでの取り組みを通して、教育、医療、研究の各分野で我々が真に生産的で在り続けるための具体策が見えているからです。

新病院においては、「教員」も「職員」も「臨床系」も「基礎系」もありません。職種の壁、講座の壁を取り払い、全員が一丸となって歯学教育の集大成である臨床教育に取り組みます。診療においても、「安心・安全で専門性の高い歯科医療の実現」と「地域医療への貢献」を目指します。そのために新病院は「地域に愛され、選ばれる病院」を基本理念に据えました。現在、用地買収は最終局面を迎えております。また、新病院の基本設計もほぼ完了し、これから詳細設計に入ります。建築面積は現在の約1.5倍、かなり斬新で魅力的な設計となっております。

この新しい病院が、100年の歴史を誇る神奈川歯科大学の再生と復活のシンボルになることは間違いありません。開業までの2年間、余念無く準備を進めて参りますので、皆様のご理解とご協力のほど、宜しくお願ひ申し上げます。



附属横浜クリニック院長

井野 智

「抱負：平成27年を迎えて」

当クリニックには開設当初より、中央手術室2室、病床19床（個室：5室を含む）が完備されていますが、諸事情により、週末はクローズして参りました。地域医療機関からの紹介患者様でも、当クリニックでの都合により、症例によっては近隣の病院歯科科様または本院（横須賀・附属病院）へ転院せざるを得ない状況で、患者様はもとより地域医療機関の皆様には、ご迷惑をおかけすることが多くありました。そこで、昨年10月より、病棟の週末稼働（月

に1～2回程度）を試験的にスタートさせました。これにより、従来実施してきた全身麻酔下での埋伏抜歯や嚢胞摘出術等（短期入院）に加えて、受け入れ不可であった腫瘍や外科矯正症例など（入院加療が5日を超える症例や週末からの入院）についても事前の入院計画により、対応できるようになりました。今後は、通年の病棟稼働体制の確立を目標に、更なる整備を推進し、地域医療機関の皆様のご要望にお応えできる医療機関として努力していきたいと考えています。

今年は無年。『羊は安らかに草を食み（バツハ）』という曲もあるように、温和で優しい性格の羊にちなんで、今年も地味であっても勤勉に努力し、着実に成果が得られるよう励んでいければと考えております。皆様にとって、良い年となりますように。



神奈川歯科大学同窓会 会長

大館 満

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様には日ごろより同窓会活動に対しご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年異常気象により災害は拡大

を続け、日本中に大きな傷跡を残しました。そのような中、デング熱に始りエボラ出血熱という重篤な感染症に世界中が振り回され、地球規模の不安が広がりました。

大学においては財務の安定を背景に平成29年に新病院竣工を目指しスタートいたしました。

その後の竣工記念式典には大学創立50周年も重なり節目の時となること確信致しております。その折には同窓会も参画し新生神奈川歯科大学を大いに祝福したいと願っております。また、本年の受験生の確保

も順調に推移していると伺っており、大変安堵いたしております。

一方で慶事として昨年11月に神奈川歯科大学短期大学部同窓会、創立60周年記念式典および祝賀会が開催されました。多くの方が集い神奈川歯科大学の歴史を紐解くようなお話や逸話もあり厳粛な中、盛況に推移し、成功裏に閉会となりました。

さて、同窓会においては昨年7月の代議員会にて懸案であった代議員会の開催回数を年、2回から1回とする議事が了承され、同窓会

改革がスタートいたしました。財務面の安定を得てこれから10年、20年耐えうるシステムの構築を目指して改革を進めてまいりたいと思っております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年は大学、同窓会ともに変革の年であります。皆様にもご理解をたまわり今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。本年も皆様のご多幸とご健勝を心より祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。



神奈川歯科大学短期大学部同窓会 会長

名取 すみ子

皆様お健やかで新年をお迎えになりました事お慶び申し上げます。

昨年は皆様方のお陰で無事同

窓会創立60周年記念式典を開催できました事この場をお借りして御礼申し上げます。

学校法人神奈川歯科大学理事長鹿島勇様には記念式典開催計画段階より親身に相談に乗っていただき、ご理解ある対応、本当に同窓会を代表して感謝申し上げます。また、ご出席くださった来賓の皆様、会員の皆様のお陰で盛会になりましたこと改めて御礼申

上げます。

いよいよ気持ち新たにスタートをした同窓会です。横須賀・三浦半島の地域活性化と大学との共存の必要性、繋がりの大切さを考えより魅力ある同窓会にすることを目標に、年代の高い世代と若い世代が一緒に参加しやすい環境作りをしていきたいと考えています。

まず専門性を生かせる母校のアピールを学生確保に繋がるようお

手伝いしたいと思います。

同窓会も特任講師として高校訪問を行い学生確保の協力もしておりますが、更に良い結果が得られればと願っている次第です。

伝統ある大切な母校です。学校を卒業した事を誇りに思い皆様の夢が大きく実現することを祈念し新年のご挨拶といたします。

平成26年度 競争的資金獲得一覽

種別	課題番号	研究種目	研究代表者	所属	職名	研究課題名
科学研究費補助金	23592904	基礎研究 (C)	星 憲幸	咀嚼機能制御補綴学	講師	インプラント周囲炎に対するインプラント表面処理法の新規開発
	24592887	基礎研究 (C)	花岡 孝治	歯科教育学	准教授	フロアブルコンポジットレジンを用いた歯の修復
	24592888	基礎研究 (C)	権谷 亨	う蝕制御修復学	講師	新規口腔内モデルを利用した、高齢者歯肉う蝕に対する過重石灰化システムの構築
	24592938	基礎研究 (C)	玉置 勝司	顎咬合機能回復補綴医学	教授	咬合感覚異常 (症) に対する高次脳活動、自律神経活動、精神面からの病態解析
	24592971	基礎研究 (C)	堀 紀雄	クラウンブリッジ補綴学	非常勤講師	新たに発見されたチタンエッジング現象の樹膠の解析と解決のための回復方法の探求
	24593013	基礎研究 (C)	吉野 文彦	口腔科学	准教授	ファイトケミカルを用いた歯化学療法に伴う口腔内炎の新規治療法の確立
	24593172	基礎研究 (C)	渡辺 清子	微生物感染学	講師	植物由来成分の歯周病予防薬としての後置に促す研究
	24792043	若手研究 (B)	武藤 俊子	歯周生物学	講師	歯周再生過程における象牙質形成と Wnt シグナルの役割の解明に関する研究
	24792118	若手研究 (B)	大塚 剛郎	口腔科学	助教	咬合異常による脳内ストレス回路の賦活化と回復機構の解明
	24792261	若手研究 (B)	小澤 重幸	顎顔面外科学	助教	抗腫瘍性ケモカイン B R A K を標的分子とする口腔癌へのアローメイト治療の導入
	25350542	基礎研究 (C)	高垣 裕子		特任教授	異なるインテグリンサブユニットによる骨の力学的刺激受容の特性と多様性の解明
	25440174	基礎研究 (C)	山本 利春	口腔科学	准教授	フロスタグランジンは冬眠する神経細胞を保護する
	25460704	基礎研究 (C)	高橋 俊介	口腔科学	准教授	糖尿病性血管障害は口腔から予見できるか？ 歯肉微小血流量による非侵襲的評価法の確立
	25462973	基礎研究 (C)	二瓶 智太郎	クリニカル・バイオマテリアル	准教授	新規疎水性シランカップリング剤の合成によるコンポジットレジンの開発と接着性効果
	25462974	基礎研究 (C)	岡田 周策	う蝕制御修復学	講師	セラミ系正方晶ナノジルコニア複合セラミックスの修復界面の検討
	25462975	基礎研究 (C)	向井 義晴	う蝕制御修復学	准教授	口腔バイオフィルム活性に対するイオン徐放性樹脂含有予防材料の効果
	25463057	基礎研究 (C)	大橋 祥	クリニカル・バイオマテリアル	助教	バイオカップリング剤によるチタンインプラント表面の骨誘導能の検討
	25463058	基礎研究 (C)	松尾 雅斗	口腔科学	准教授	光機能化処理によるインプラント周囲骨形成促進の試み。一微小領域からのアプローチ
	25463101	基礎研究 (C)	前畑 洋次郎	口腔科学	講師	DNA メチル化阻害による抗腫瘍因子 BRAK の発現制御を介した新規口腔癌治療の開発
	25670828	挑戦的萌芽研究	木本 克彦	咀嚼機能制御補綴学	教授	咬合咀嚼刺激による唾液中代謝物質の網羅的解析
	25670899	挑戦的萌芽研究	石川 恵理子	総合教育部	助教	口腔ケアによる高齢期に表れる認知機能回路の賦活化と再生の解明
	25861817	若手研究 (B)	賣田 牧子	咀嚼機能制御補綴学	特別研究員	漂白剤処理における新規ナノバクテリオソーム形成の解明
	25861871	若手研究 (B)	小泉 創	口腔科学	助教	咀嚼による心不全抑制の脳内メカニズム解明への取り組み
	25861982	若手研究 (B)	生駒 丈晴	顎顔面外科学	助教	顎顔面扁平上皮癌における新規分子標的薬を用いたサイトカイン B R A K の転写因子解析
	25862036	若手研究 (B)	保田 将史	口腔機能成育歯科学	助教	幼児期におけるストレスが口腔機能領域の疼痛感受性へ与える影響
	25862037	若手研究 (B)	三宅 真次郎	口腔科学	助教	咀嚼器官活性化によるストレス軽減効果を利用した PTSD 患者の予防・改善への取り組み
	25870841	若手研究 (B)	宮本 千央	口腔科学	特別研究員	EGFR 阻害剤の副作用を軽減する顎顔面扁平上皮癌併用療法の開発
	25293384	基礎研究 (B)	畑 隆一郎		特任教授	副作用のない高抑制法の検討：活性化 BRAK による癌の転移抑制シグナルの解明
	25293414	基礎研究 (B)	久保田 英朗	顎顔面外科学	教授	顎顔面扁平上皮癌のエピジェネティクス異常の解明と新規治療戦略
	26350942	基礎研究 (C)	山本 伊佐夫	京都歯科大学歯学部口腔科学	講師	虚谷ハイリスク児早期発見と診断ツールの開発と舌癌治療法による夜泣き改善評価
	26462801	基礎研究 (C)	山田 信城	微生物感染学	教授	デンタルバイオフィルムにおける病原因子の分子遺伝学的解明に関する研究
	26462900	基礎研究 (C)	菅山 淳	う蝕制御修復学	講師	抗菌剤がポリマクロバイオフィルムバイオフィルムの代謝および群集構造へ与える影響の解析
	26463123	基礎研究 (C)	木本 茂成	口腔機能成育歯科学	教授	成長発達期における口腔機能療法の効果に関する生理学的研究
	26463124	基礎研究 (C)	笹塚 健一	口腔科学	講師	チューイングによる咀嚼体を中心としたストレス源効果の脳内機構の解明
	26463125	基礎研究 (C)	小松 知子	口腔科学	講師	唾液中の活性酸素とプロオーム解析による歯周病病源の脳内機構の探求
	26463147	基礎研究 (C)	高橋 龍子	口腔科学	講師	抗酸化物質クルクミンを用いた歯周病治療戦略の可能性 / 血管機能を指標とした解析
	26670821	挑戦的萌芽研究	堀本 恵一	口腔科学	教授	関節リウマチにおける唾液抗 CCP 抗体の診断的意義の解明
	26861581	若手研究 (B)	香西 雄介	放射線応用科学	講師	歯骨を対象とした放射線超音波強度測定装置の開発
	26861582	若手研究 (B)	塚田 樹理	口腔科学	准教授	唾液メタボローム解析による NASH 発症機序の解明と新しい診断基準の構築
	26861809	若手研究 (B)	室町 幸一郎	歯周生物学	助教	修復象牙質形成における BMP-1 のプロテアーゼ活性非依存的機能の解明
	26861610	若手研究 (B)	飯塚 純子	う蝕制御修復学	特別研究員	塗布と効率的再石灰化を誘導する歯質改善システムの創製
	26861611	若手研究 (B)	武村 幸彦	放射線学	特任講師	マイクロCTを用いたフロアブルコンポジットレジンの重合収縮挙動の分析
26870665	若手研究 (B)	佐藤 武則	微生物感染学	特別研究員	歯周炎発症機構における A. naeslundii 線毛の分子生物学的機能解析	
厚生労働科学研究費	"H24-循環器等(生活)一般-007"	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	山本 龍生	社会歯科学	准教授	住民のソーシャル・キャピタルの涵養を通じた効果的・効率的な歯と口の健康づくりプログラムの開発と効果の検証

NPO 活動法人 神奈川歯科大学南東アジア 支援団 (KDC-SAS) ~10 周年を迎えて~ NPO 代表理事 平田宗善

平成 16 年 12 月 26 日のスマトラ沖地震により発生したインド洋大津波で被害を受けたタイの被災地救援歯科医療を目的として、翌年 6 月に設立された神奈川歯科大学南東アジア支援団 (KDC-SAS) は今年 10 周年を迎えました。今日まで KDC-SAS をご支援頂きました大学法人、同窓会、関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。

当初の 3 年間のタイ被災地での救援活動は、マヒドン大学歯学部、プラティープ財団、現地基幹病院、日本及びタイ政府の協力と多くのボランティアの参加で、6000 人余りの被災者の歯科治療や口腔衛生・予防指導を実施しました。

平成 19 年からは、プーケット市内で毎年 1000 人余りを対象

に歯科健診活動を現在まで継続しております。また、バンコク、チェンマイにおいても 3 年間予防歯科活動を実施しました。さらに、ラオス・ビエンチャン県においても、マヒドン大学、ビエンチャン大学と協力して 1000 人余りの歯科治療ボランティアを実施しました。

平成 21 年には、NPO 法人となり、フィリピン・ネグロス島での口唇口蓋裂手術支援も活動の一環となりました。この事業は現在まで継続して行っています。

これまでの活動は現地の口腔衛生の維持・向上、また生まれながらに障がい

をもたれた方々の QOL 改善において、いずれも高い評価を受けています。

国内では、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災に率先して団員を派遣しました。この未曾有の大災害は、今後の自然災害における歯科医療活動の問題を検討する端緒となりました。

この 10 年間、梅本・久保田・佐藤各歴代学長を代表として活動をしてまいりました。そして、昨年 4 月に平田学長に代表として就任して戴きました。また、黎明期より団員として参加戴いたマー

チン・ピーターズ教授がアメリカへ帰国なされ寂しくなりました。しかし、今後も本会理事として遠く海外から引続き協力頂くことになりました。

わたしたちは、今後とも歯科医療ボランティア活動を継続していく所存です。どうか皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

KDC-SAS 代表退任・就任式 ピーターズ教授ご夫妻送別会



平成 26 年 11 月 8 日 (土)、「Let it 50 周年 ~ありのままの神歯で~」をテーマとして稲岡祭が開催されました。今回は 50 回目の節目ということで、歯科大生と短大生そして教職員が丸となって学園祭を盛り上げ、例年よりも多くのお客様にご来場いただきました。

野外ステージでは MC として「たいがー・リーさん」「阿久津ゆりえさん」を迎え、毎年恒例の POPS 部・音楽部・軽音楽部・ダンス部が華やかな公演を披露してくれました。また、今年で 2 回目となる「のど自慢大会」も開催され、予選を勝ち抜いた 5 組が個性を発揮し、50 周年の節目に華を添えてくれました。優勝は素晴らしい声量と美声で大勢の観客を魅了した歯学部 5 年：坂東秀紀さんでした。特別イベントとして、講演会（小泉進次郎代議士）やアーティスト

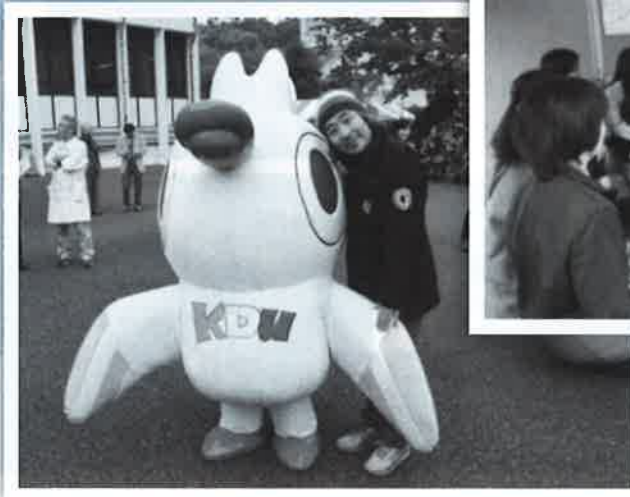
トライブ（加藤ミリヤさん）も行われ、大盛況のまま幕を閉じました。また本学のイメージキャラクター「かもめのケイディくん」のお披露目会もお多くの方からの注目を集め、生みの親である安齋肇さんもその様子を見守りました。

各クラブや有志団体からは「たこ焼き」「豚汁」「じゃがバター」「ストラックアウト」「金魚すくい」といった馴染みのある出店で会場を賑わせました。今回は韓国留学生による「韓国焼肉」や台湾留学生による「台湾風やしそば」等、国際色のある出店も見受けられ、横須賀市や三浦市の観光案内ブース、本学独自の「無料歯科相談」「骨年齢測定」も加わり大変賑やかな学園祭となりました。

稲岡祭 50周年記念祭

Let it 50周年 ~ありのままの神歯で~

2014. 11. 8 sat



この度は第 50 回稲岡祭~ Let it 50 周年ありのままの神歯で~におきましては教職員、学生の皆さま方に多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今回は開学以来、50 周年記念の学園祭であり「いままでにない大規模な学園祭にしよう」というコンセプトの下、学生と教職員が一体となり、稲岡祭への準備を進めてきました。当日は地域に開かれた医療系大学として、学生のみならず一般の方々にも楽しんでいただけたと思います。おかげさまで、過去最大の来場者を数え、好評のうちに無事終えることができました。これもひとえに、ご協力いただきました皆様のお力によるものと心より感謝申し上げます。どうか今後も倍旧のお引き立てをお願い申し上げます次第です。

(稲岡祭実行委員長 内藤広太郎・中尾伸)



就任挨拶



口腔科学講座 教授
伊藤 寿樹

この度ご縁あって神奈川歯科大学大学院 口腔科学講座 内科・皮膚科 教授を拝命致しました伊藤でございます。神奈川歯科大学のさらなる発展のために、微力ではございますが以下の三点において可能な限り尽力したいと考えております。

最初に歯学部の子生教育の充実です。近年は歯科医師国家試験が難化し、「高齢者や全身疾患をもつ患者様への対応」や「口腔と全身の関係」についての出

題が増えてきております。このため歯科に密接に関連し、尚且つ、実践力が身につくような医科教育の充実を図って参りたいと考えております。

次に医科診療の充実です。歯科患者様のもつ医科疾患に迅速に対応すると共に、歯科大学附属病院としてのより良い医療サービスの提供を目指すことができましたと考えております。

最後に大学院教育の充実です。榎木副学長を筆頭に、第二次大学院改革の最中、「活発な議論のできる環境づくり」と「歯科大学の特性を活かしたユニークで質の高い業績」を目指して参りたいと考えております。大変未熟ではございますが、教職員の皆様方のご助力・ご協力の程を何卒宜しくお願い申し上げます。



横浜クリニック診療科教授
中村 篤

平成26年9月1日より、神奈川歯科大学附属横浜研修センター横浜クリニックの歯科口腔外科の診療科教授を拝命いたしました。

医療は日進月歩で進み、より低侵襲で安全な医療へと向かっております。

1mm以下の精度で映し出すCTはハイビジョン画質のテレビのようで、それを任意の断面

で切り取って観察することや立体表現することができます。手術中に切除している部位をCT画像上に3次元表示することも可能です。

内視鏡においては、奥行きが分かるように立体視できるものが開発されています。これらを利用すれば、顎関節の腫瘍など、口の中から安全に行うことが可能です。

神の目で手術していた時代はおわり、CTや、内視鏡の目を借りて手術する時代です。

今後は、日本口腔外科学会の認定指導医として、専門医を育成してきた経験を活かし、当研修センターにおきましても、専門医の育成に力を入れて行く所存です。



先進医学口腔科学講座 教授
市邊 義章

平成26年10月1日から神奈川歯科大学附属横浜クリニック眼科に勤務させていただいております。市邊義章（いちべよしあき）と申します。昭和63年に北里大学を卒業後、主に北里大学で診療、研究、教育を志しました。私の専門は糖尿病網膜症、黄斑変性、ぶどう膜炎、視神経症など眼底疾患が主流です。当眼科では、白内障、緑内障をはじめ、失明原因の上位に位置する眼底疾患の早期発見に重点

を置いています。それ以外にも眼球運障害や斜視、眼精疲労、眼瞼痙攣などの神経眼科疾患、小児眼科（斜視弱視訓練の国家資格である視能訓練士と共に相談し治療計画を立てています）なども専門医によって行っています。さらに、日常使用する眼鏡に関しても、適切な眼鏡をご提供します。近年、眼科領域も各病気に対する専門性が年々高くなってきております。より専門的な検査、治療が必要とされる病気に関しては周辺の専門外来を持つ施設と連携し、最適な治療を患者さんに提供していきます。また、各種疾患の患者さんに対する勉強会や講演会も定期的に行っていると思っています。地域の方々の目の健康維持に少しでも貢献できるよう努力していく所存です。どうぞよろしくお願い致します。

感謝状

平成26年8月29日、桑原振一郎栃木県警察本部長より栃木県内で発生した捜査本部事件のDNA鑑定を行い事件解決に大きく貢献したとして本学大学院災害医療歯科学講座法歯科学の山田良広教授に感謝状が贈呈されました。

山田教授はこの他にも拉致

被害者関連の鑑定や袴田事件の検察側鑑定人を務められるなど国内の重要事件のDNA鑑定をされています。DNA鑑定の第一人者としてその経験と業績を学生教育にフィードバックされることを期待しています。（教室有志記）



感謝状の授与

平成 26 年 10 月 12 日 (日) 横須賀市立常葉中学校体育館において、第 20 回「横須賀警察署管内地域安全市民のつどい」が開催され、横須賀警察署長並びに地域安全市民のつどい委員長から神奈川歯科大学附属病院に感謝状が授与されました。

これは、長年にわたり地域の防犯活動に多大な貢献をしたこ

とが認められ受賞したものです。当日は木本茂成副病院長が式典に出席し、感謝状を頂いてまいりました。



～神奈川歯科大学34回生より寄贈された掛時計が撤去されました～

平成 26 年 9 月 8 日 (月) に神奈川歯科大学 34 回生より寄贈いただきました掛時計が撤去されました。

この掛時計は、平成 15 年 3 月に卒業した神奈川歯科大学 34 回生 116 名より寄贈されたものです。残念ながら掛時計は老朽化により修理不能となったためやむを得なく撤去することとなりましたが、10 年以上の長きにわたり本学を見守っていただいた掛時計に感謝するとともに、寄贈して下さった 34

回生の皆様にお礼申し上げます。



神奈川歯科大学短期大学部アカデミックサポート委員会主催『ブラッシュアップ講座 2014』および生涯学習セミナー開催

平成 26 年 8 月 10 日 (日)、48 名の受講生を迎え『平成 26 年度 ブラッシュアップ講座』が開講されました。日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩

クリニック勤務、神奈川歯科大学短期大学部歯科衛生学科客員教授の水上美樹先生に『口腔リハビリテーションクリニックにおける歯科衛生士の行う摂食機

能療法』と題してご講演いただきました。次いで、同じ多摩クリニック勤務の歯科衛生士田中祐子先生には口腔領域の評価実習用評価表を用いての症例検討を実施していただき、参加者は口腔領域の評価の難しさを体験しました。

また、10 月からは生涯学習セミナーが開講され、今年度は

例年の講座のほかに本学専任教員担当の『わが国の食品衛生の現状と消費者の抱える不安』、『認知症を防ぐ強い脳を作ろう!』と題して無料講座を開講したところ 100 名を超える多くの方々にご参加いただきました。

(アカデミックサポート委員会)

第 9 回 神奈川歯科大学白菊会総会及び懇親会

平成 26 年 9 月 20 日に白菊会第 9 回総会並びに懇親会が執り行われました。当日は、ご遺族様・会員様・教職員・2 年生等、総勢 175 名の方々にご参列賜りました。冒頭、本学にご献体賜りました 1,893 柱の御霊に黙祷を捧げそのご冥福をお祈りいたしました。白菊会役員土山様の開式の言葉に続き、本学を代表して平田学長と松尾准教授よりお言葉を頂戴し、2 年生代表平田一貴さんと上田晴香さんか

ら、解剖実習の体験と感謝の言葉が語られました。次に、本年度解剖実習にご献体賜りました 5 名のご遺族様より「献体への遺族の想い」と題し、学生達に向けてお話を賜りました。その後、災害医療法医歯科学山本伊佐夫講師より「長寿の秘訣は呼吸と足元から」、本学特任教授の長谷川巖先生より「最先端医学による死後の話～死後画像診断学の現在と未来」と題した講話を賜り、続いて文部大臣から

の感謝状をご遺族様 6 組に槻木副学長から手渡されました。また、地域連携の一環で、障がい者支援事業を展開しております「トライフ」社長の寺島大輔氏より、ご高齢者も安心して使用

できる口腔ケア剤の紹介がされた後、「神奈川歯科大学友の会」の皆様による「合唱」披露を行い、第 9 回白菊会総会は無事終了いたしました。



全学防災訓練の実施

平成26年11月14日(金) 全学防災訓練を実施致しました。今回は、6月に実施した訓練後のアンケートの設問「非常放送が聞こえましたか」に対し、約4割の方より「聞こえない」との指摘を受けた点を重要視し、再度非常放送システムの再構築と放送テストを行い「非常放送を主とした指揮命令系統と情報共有の確立」と「津波に対する危機管理意識の向上」をテーマとしました。

約1,200名が参加する今回の訓練は、直下型地震発生に伴う、約4mの津波が15分後に横須賀に到達することを想定し、建物の損壊・火災の鎮火・怪我人の救助を含め、時間内に耐震建物の1、2、4号館の3F以上に避難する、というシナリオを設定しました。16:20学内に鳴り響くサイレンが訓練開始を告げ、4分後に、1号館4Fに設置した災害対策本部から、非常放送を使用し避難開始を告げました。各防災実行委員には、防災用に新たに購入した25台のトランシーバーを駆使し、各建物の状

況を随時報告させながら、情報を共有し、本部は適切な指示を出す事に主眼を置きました。

火災発生箇所の鎮火、怪我人救護を含め、実にスムーズな移動がなされ、懸念しておりました附属病院関係者約300名の1号館3Fフロアへの移動も大きな混乱も無く、安否確認予定時刻を3分短縮する事ができ、本部は安堵致しました。

また今回は、非常放送を利用して、中村特別顧問から「津波

に対する留意点」の話があり、その後、平田学長より全体の講評がなされ、終了予定時刻の16:50、全学防災訓練は、成功裏に終了致しました。

あとがき

本年度より、全学防災対策協議会が新設され、防災の中核を担っております。また、中村一義特別顧問(元横須賀市南消防署長)が防災担当として手腕を発揮し、看護学科中村仁志講師による防災講義など、横須賀湘南地域災害医療センターを含め、本学の防災に対する意識は、

飛躍的に高まっております。更に防火防災管理取得者は、現在の5名から、平成26年度末には17名が取得予定です。3・11以降、全国で多発する甚大な自然災害は、もはやどこでも起こりうる状況であります。これらの状況を鑑み、学内災害強靱化を図るべく、平成27年度は、大小含め、様々な訓練を行ってまいります。ご承知おき頂くとともに、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。



戴帽式

戴帽式平成26年9月13日(土)、歯科衛生学科学生108名、看護学科学生80名は、歯科衛生士、看護師への決意を新たに戴帽式に臨み、大講堂において厳かな中にも華やかに執り行われました。

ナースキャップを授与された各学生は、檀上からご家族の方々にその晴れやかな姿をお披露目、そして、聖火伝達の儀では静粛の中に暖かい灯がともされ会場全体が感動に包まれました。

た。

歯科衛生学科代表鈴木聖奈さん、看護学科代表小松穂乃花さんは、平田幸夫学長に緊張しつつも「確かな技術・知識の修得と倫理観を持った医療者をめざし日々研鑽していきます」と力強く宣誓。

続いて、平田学長より訓示、来賓の歯科衛生会会長、看護協会横須賀支部長、実習病院の方々より祝辞を頂きました。学生にとって、この式典が確かな決意

に繋がり、日々学ぶ姿勢を持つ事で、更に成長することを願います。



教学部だより

歯学部

歯学体～男子バスケット部優勝！

平成26年8月1日(金)から8月12日(火)の期間で、第46回全日本歯科学学生総合体育大会(以下、歯学体)が開催されました。(事務主管校：日本歯科大学新潟生命歯学部)

今大会の優勝は愛知学院大学

歯学部、準優勝は日本大学歯学部でした。(本学の総合成績は23位)

その中でも女子ゴルフ部団体が2位、男子バスケットボール部が優勝+総合優勝、MVPに酒屋大輔君が選出されるなど大健闘でした。また、男子バスケットボール部主将でもあり、MVPを受賞した酒屋君からは「優勝

できたのはプレイヤーとマネージャーがチーム一丸となって頑張ったからです。」とのコメントをいただきました。

次回第47回歯学体は奥羽大学歯学部を主管校に開催される

予定です。本学の更なる飛躍を期待しましょう!!



平成26年度 第2回授業参観・学年別懇談会

平成26年10月2日(木)、神奈川歯科大学にて第2回授業参観・学年別懇談会が開催され、約106組の保護者の皆様にご出

席いただきました。午前は各学年の講義を見学していただき、午後の全体説明会では平田学長や教学部教務担当部長・学生担当部長よりご挨拶・カリキュラム・KDUポータルについての説

明がありました。その後、学年別懇談会が行われ、各学年主任・担任より授業や学生のサポート体制についての報告や、個人面談などが行われました。



短期大学部

保護者会

平成26年度、神奈川歯科大学短期大学部保護者会主催による第2回「懇親会」が10月28日(火)17:00～19:00保護者会室にて行われました。

参加者は、保護者(役員を含む)26名と教員36名の計62名

の参加をいただきました。会は、平田学長のご挨拶に始まり、教員の自己紹介、保護者の自己紹介、保護者から学校への質問や意見がありました。保護者からは「歯科衛生学科では本試験の不合格者の多い科目があるようですがどのような理由ですか?」「看護学科は卒業試験はありますか?」との質問があり、いず

れも丁寧に回答されました。また「学生の成長も著しく臨床実習を通じて看護師としての自覚を確実なものとし、短期間である3年で充実した教育を受けていることに感謝します」とのお礼の言葉をいただきました。保護者会は保護者と大学間の意思疎通の場として、共に協力して学生の修学が効果的に行われる

よう支援することを目的としています。終了予定時刻を過ぎても、参加教員に熱心に質問する保護者が多く見られました。遅い時間にも関わらず、ご参加下さいました教員の皆様方に深く感謝いたします。

(神奈川歯科大学短期大学部保護者会担当プロジェクト)

海外研修

平成26年8月8日(金)～12日(火)までの4泊5日の「海外事情Ⅱアジア第2回韓国研修」は、歯科衛生学科31名と看護学科4名の35名の学生が、韓国の歴史と文化に触れる研修に成田を飛び立ちました。2日目、延世大学附属病院(セブランズ病院)の視察をしました。セブランズ病院は、21階、2,300床の韓国初の近代式病院といわれ、広い敷地内に寄付金で創立され、ロボットによる手術も行われるなど最新の医療設備が整った安全性と効率性、クオリティの高い病院でし

た。3日目、明洞や東大門市場で学生たちは東の間の自由行動時間で買い物を楽しみ、タクシー代が格安なことなど日本との経済的側面の違いを学び、最終日、両班が住んでいた「キタムラ」では、韓国の王朝時代にタイムスリップした感じを受けました。白石文化

大学の実習室では最新のモデル人形が並び、歯学博物館では現代までの歯科衛生の変遷を学べる機会になりました。8月の研修で、気温、湿度が共に高かったが、天候にも恵まれ、毎日のプログラムの内容が非常に濃く、学生も充実して過ごしていたように

思います。今回の研修を受講した学生は韓国という国への関心があったため希望したと思われませんが、韓国語を積極的に使い店員と話す学生もいました。今回、韓国の研修関係者の方々からとても「温かいおもてなし」をしていただき、深く感謝いたします。



大学院ニュース

平成 26 年度第 2 回大学院 FD 講演会を開催いたしました。

平成 26 年 10 月 24 日（金）17 時 30 分より平成 26 年度第 2 回大学院 FD 講演会を本学第 1 小講堂で開催いたしました。講師には、大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学寄附講座教授（同大学病院未来医療開発部データセンター副センター長兼任）の新谷歩先生をお招きし、玉置勝司教授（大学院 FD 委員長）の司会のもと「国際誌へのアクセプトを目指して：統計

チェックリスト」についてご講演頂きました。講演会には、大学院講座の教員 55 名と大学院生 12 名、その他 7 名、計 74 名が参加しました。

講演では、グラフと記述統計量（SE, SD and CI）、p 値と有意水準、信頼区間、同等性の解析、多重性による p 値の補正、統計テストの選び方、観察研究データ解析と交絡、多変量回帰モデルについてわかりやすくご説明して頂きました。近年、論文作成に統計解析が用いられる

ことが多い一方で、十分な理解が伴わないと不適切な統計手法を選択し、結果の誤った判断を招くことから、関心の高いテーマであり多くの参加者を得ることができ研究活動の支援に貢献することができました。

大学院紹介動画の公開を行いました

大学院では、広く大学院生を募集するため、大学院で行われている様々な研究や全国でも珍しい 3 コース制の教育体系を紹

介した動画を作製いたしました（<http://www.youtube.com/watch?v=guHsZyKIWAY>）。大学院を紹介した動画は今回で 2 本目であり、先に公開した本学独自の ICT を用いた最新の講義録画配信システムも、YouTube では 1074 回の視聴があり好評を得ております。是非とも、関係各位には積極的にダウンロードしていただきご紹介をいただきますよう、お願いいたします。

2015 年度入学試験実施一覧

歯学部歯学科（募集定員 100 名 男女）					
試験区分	試験日	合格発表	試験区分	試験日	合格発表
卒業生子女 2 期	2015 年 1 月 31 日（土）	2015 年 2 月 3 日（火）	一般 1 期	2015 年 1 月 31 日（土） 2 月 1 日（日）	2015 年 2 月 3 日（火）
卒業生子女 3 期	2015 年 2 月 22 日（日）	2015 年 2 月 24 日（火）	一般 2 期	2015 年 2 月 22 日（日）	2015 年 2 月 24 日（火）
帰国子女・ 外国人留学生 2 期～3 期	卒業生子女と同じ		一般 3 期	2015 年 3 月 8 日（日）	2015 年 3 月 10 日（火）
編入 2 期	2015 年 1 月 31 日（土）	2015 年 2 月 3 日（火）	センター試験 利用 1 期	2015 年 1 月 31 日（土）	2015 年 2 月 5 日（木）
編入 3 期	2015 年 2 月 22 日（日）	2015 年 2 月 24 日（火）	センター試験 利用 2 期	2015 年 2 月 22 日（日）	2015 年 2 月 24 日（火）
編入 4 期	2015 年 3 月 8 日（日）	2015 年 3 月 10 日（火）			

※詳細はホームページをご覧ください

短期大学部歯科衛生学科・看護学科					
歯科衛生学科（定員 120 名 男女）			看護学科（定員 80 名 男女）		
試験区分	試験日	合格発表	試験区分	試験日	合格発表
一般	2015 年 2 月 1 日（日）	2015 年 2 月 3 日（火）	一般	2015 年 2 月 1 日（日）	2015 年 2 月 3 日（火）

※詳細はホームページをご覧ください

オープンキャンパス 2014 年度日程

歯学部 オープンキャンパス 2014 年度日程		短期大学部 オープンキャンパス 2014 年度日程		
日程	体験授業	日程	歯科衛生学科 体験授業	看護学科 体験授業
2015 年 3 月 15 日（日）	新 3 年生対象	2015 年 3 月 22 日（日）	歯科衛生士の仕事	看護師の仕事

※詳細はホームページをご覧ください

※詳細はホームページをご覧ください